

司書教諭に関する科目

授業科目名	右上表示
学校経営と学校図書館	司書教諭-1
学校図書館メディアの構成	司書教諭-2
学習指導と学校図書館	司書教諭-3
読書と豊かな人間性	司書教諭-4
情報メディアの活用	司書教諭-5

学校経営と学校図書館（テキスト）

担当教員： 河内 祥子

3年次～ 必修2単位

テキスト科目/2025年度

概要

「学校経営と学校図書館」は、司書教諭講習規定において最も基礎的な科目として位置づけられている。学校教育全般における学校図書館の位置づけはもとより、学校図書館法をはじめとする法制度的位置づけ、公共図書館をはじめとする学校外施設との連携等、対象とする範囲も極めて広い。

学校図書館に関わる基礎理論を押さえた上で、学校経営における学校図書館の位置づけについて、よりマクロ的視点から多角的に考察する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学D P1 大学D P2 大学D P3 大学D P4 大学D P5

到達目標

学校経営における学校図書館の位置づけを学校教育全般及び生涯学習等の隣接領域と関連させ多角的に考察する能力を養成する。

学習の進め方

テキストや「学習の手引」を読み学習を進めることは大前提であるが、そのみで終わらせることなく参考書やテキスト中にあげられている文献等の多くの関連文献を入手すること。これらを参考にすることで理解をより深めることが可能となる。レポート合格後は、科目修了試験に向けて、テキスト・参考書を再度学習する。

内容

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 学校における学校図書館の役割 | 9. 教育課程からみる学校図書館経営 |
| 2. 学校図書館を巡る教育改革の動向 | 10. 「生きる力」からみる学校図書館経営 |
| 3. 学校図書館発展の過程 | 11. 「心の教育」からみる学校図書館経営 |
| 4. 教育法制の中の学校図書館 | 12. 学校図書館における PDCA サイクル |
| 5. 学校図書館運営の運営体制とその中核を担う人 | 13. 教育行政と学校図書館 |
| 6. 学校図書館の運営に関わる人 | 14. チーム学校と表現の自由 |
| 7. 学校図書館と物的資源（施設・設備） | 15. まとめ |
| 8. 学校図書館と物的資源（メディアコレクション） | |

テキスト・参考書

①テキスト 学校図書館への招待 坂田仰 八千代出版 2020年、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 ①学校図書館基本資料集改訂版 全国学校図書館協議会監修 全国学校図書館協議会 2020年

②教職教養 日本国憲法 補訂版 坂田仰・田中洋 八千代出版 2011年

成績評価

①レポート 全体を100として、課題の理解30%、学生自身の学習成果50%、レポートとしての完成度20%として評価する。

②科目修了試験 第1問50点、第2問50点と配分し、合計点で評価するが、1問でも0点となった場合は不合格とすることがある。

その他

レポート課題集に掲載されている「レポート作成のための参考書」などでレポートの書き方について学んでから課題に取り組むことが望ましい。

学校図書館メディアの構成 (テキスト)

担当教員： 後藤 敏行

3年次～ 必修2単位

テキスト科目/2025年度

概要

今日、メディアの種類は多様化し、数量も急速に増え、利用の方法も複雑化している。そのため、学校教育におけるメディアの諸問題を扱う際には、状況を多面的にとらえ、知識と技術のすそ野を広げておく必要が生じている。

このような認識のもとに、当科目では、学校図書館活動の基盤となる「情報資源」の形成にかかわる知識と技術を学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2 大学DP3 大学DP4 大学DP5

到達目標

- ①図書館メディア（図書館資料）に関する基礎知識を習得する。
- ②メディア選択と収集、ならびにコレクション形成の方法について学ぶ。
- ③分類法、目録法、件名法といった、メディアの組織化のための技術を学ぶ。

学習の進め方

テキストを熟読したのち、レポート課題に着手する。課題1・2とも、テキスト全体を参考にすべきである。完成度を高めるために、各自の判断で参考書なども調べる。科目修了試験に向けても、テキスト全体をよく理解しておくこと。

内容

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 学校図書館メディアの意義 | 9. コレクション評価の手法 |
| 2. メディア構成の要点 | 10. メディアへの物理的アクセス支援 |
| 3. メディア構成の知識と技術 | 11. メディアへの知的アクセス支援 |
| 4. 学校図書館メディアの種類 | 12. 分類法を用いたメディアの組織化 |
| 5. 印刷・視聴覚メディアの選択と収集 | 13. 目録法を用いたメディアの組織化 |
| 6. 電子メディア利用の環境整備 | 14. 件名法を用いたメディアの組織化 |
| 7. コレクション形成の意義 | 15. 学校図書館メディアの構成における課題 |
| 8. コレクション形成の実際 | |

テキスト・参考書

①テキスト 学校図書館メディアの構成 小田光宏(編) 樹村房 2016

*上記のとおり2016年初版発行のものを指定しますのでご注意ください。

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

②参考書 学校図書館メディアの構成改訂新版 北克一 他編著 放送大学教育振興会 2016

学校図書館メディアの構成 「探究学校図書館学」編集委員会編 全国学校図書館協議会 2020

学校図書館メディアの構成第2版 緑川信之編 学文社 2008

*当科目は各社が教科書を出していますが、数年おきに改訂されることが多いです。それぞれ最新の版を参考にしてください。

成績評価

①レポート テキストの内容を理解できているか：70点満点

テキストに加えて、参考書をみずから調べるなどによって、詳細な論述ができているか：10点満点

分かりやすく書けているか：20点満点 計100点満点

*課題の字数制限を守ってください。単に長く書けば良いわけではありません。「詳細であるが、冗長ではない」表現を追求してください。字数制限を超えた場合、不合格になる可能性があります。

②科目修了試験 論述式の試験である。

テキストの内容を理解しているか：90点満点

分かりやすく書けているか：10点満点 計100点満点

学習指導と学校図書館（テキスト）

担当教員： 後藤 敏行

3年次～ 必修2単位

テキスト科目/2025年度

概要

当科目は、「学習指導における学校図書館メディア活用についての理解を図る」ことをねらいとしている（文部科学省 “（別紙 2）司書教諭の講習科目のねらいと内容” https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/1327211.htm（参照 2024-11-26））。教育課程と学校図書館、発達段階に応じた学校図書館メディアの選択、児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成などについて、テキストをもとに学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2 大学DP3 大学DP4 大学DP5

到達目標

- ①学習と図書館との関係の理論的側面について理解する。
- ②情報リテラシー教育について理解する。
- ③学校図書館を活用した授業実践と学習事例について理解する。

学習の進め方

テキストを熟読したのち、レポート課題に着手する。課題1は第2章を中心にテキスト全体を、課題2はテキストの第5～8章を参考にするとよい。完成度を高めるために、各自の判断で参考書なども調べる。科目修了試験に向けては、テキスト全体をよく理解しておくこと。

内容

1. 学習と図書館
2. 『学習指導要領』にみる学校図書館
3. 探究的な学習の理論と図書館の情報資源
4. 学習指導における問題の設定
5. 情報リテラシーの内容と指導方法
6. 情報リテラシーと探究的な学習 (1) 探究的な学習における図書館の情報資源の利用など
7. 情報リテラシーと探究的な学習 (2) 問題の焦点化と件名標目の利用など
8. 情報リテラシーと探究的な学習 (3) 情報探索に関する学習階層と検索戦略の構築など
9. レファレンスサービスによる学習支援
10. 教職員のための学校図書館活用へのアプローチ
11. 小学校における学校図書館の活用 (1) 国語科における学校図書館活用など
12. 小学校における学校図書館の活用 (2) 総合的な学習の時間における学校図書館活用など
13. 中学校・高等学校における学校図書館の活用 (1) 学校図書館を活用した授業の目的など
14. 中学校・高等学校における学校図書館の活用 (2) レポート作成指導の事例など
15. 探究的な学習成果の評価と図書館の情報資源の活用

テキスト・参考書

①テキスト 学習指導と学校図書館 齋藤泰則(編) 樹村房 2016

*上記のとおり 2016年初版発行のものを指定しますのでご注意ください。

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 学習指導と学校図書館改訂新版 堀川照代 他編著 放送大学教育振興会 2016

学習指導と学校図書館第3版 渡辺重夫 学文社 2013

学習指導と学校図書館 「探究学校図書館学」編集委員会編 全国学校図書館協議会 2020

*当科目は各社が教科書を出していますが、数年おきに改訂されることが多いです。それぞれ最新の版を参考にしてください。

成績評価

- ①レポート テキストの内容を理解できているか：70点満点
テキストに加えて、参考書をみずから調べるなどによって、詳細な論述ができているか：10点満点
分かりやすく書けているか：20点満点 計100点満点

*課題の字数制限を守ってください。単に長く書けば良いわけではありません。「詳細であるが、冗長ではない」表現を追求してください。字数制限を超えた場合、不合格になる可能性があります。

- ②科目修了試験 論述式の試験である。
テキストの内容を理解しているか：90点満点
分かりやすく書けているか：10点満点 計100点満点

読書と豊かな人間性（夏期スクーリング）

担当教員： 木内 英実

3年次～ 必修2単位

スクーリング科目/2025年度

概要

子どもの読書力の発達、読書離れと言われる近年の傾向と実態、児童及び生徒にとっての読書の意義を学ぶ。それらの実態に即し、有効な読書推進活動を行うための学校図書館のあり方を考察し、司書教諭の果たす役割を理解する。また、実際の読書指導の内容と方法について、事前課題（絵本の読み聞かせ・ブックリスト作成）・ブッククラブ等演習を通して具体的かつ実践的に学ぶ。各種社会教育機関との連携についても触れる。PBL を用いて今後の司書教諭の役割について学び、総合的な理解及び定期試験に繋げていく。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（Zoom）】（授業実施）及びLMS【manaba】（授業資料配付、課題の提出窓口、チャット等）。受講者数によっては複数のZoomブレイクアウトルームを用いての演習（絵本読み聞かせ・ブックリスト検討）、グループワーク、PBL等も行う。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2 大学DP3 大学DP4 大学DP5

到達目標

- ①児童及び生徒の読書の実態を理解する。
- ②司書教諭の果たす役割を理解する。
- ③読書指導の実態を理解する。
- ④今後の学校図書館と司書教諭のあり方について自分の考えを持つ。

授業計画

- | | |
|---|--|
| 1. イントロダクション: 授業の進め方と受講にあたっての注意事項（絵本の読み聞かせ、ブックリスト演習について）等 | 9. 演習（事前課題のブックリストの検討）（4日目 Zoom） |
| 2. 読書の意義と目的 | 10. 図書資料の種類と評価・選択 |
| 3. 読書と人間形成、読書と子どもの発達（1日目 Zoom） | 11. 読書体験の表現と交流 |
| 4. 司書教諭及び学校司書の役割 | 12. 調べ学習指導（5日目 Zoom） |
| 5. 読書指導と学校図書館の実際（2日目 Zoom・動画視聴） | 13. 家庭および地域の社会教育機関との連携 |
| 6. 読書の指導方法（概要） | 14. 今後の司書教諭の役割<PBLを含む> |
| 7. 読書の時間の選書と運営、パスファインダー（3日目 Zoom） | 15. 最終レポートにむけての最終確認、授業全体の振り返り、質疑応答（6日目 Zoom） |
| 8. 演習（絵本の読み聞かせ） | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

15時間（絵本選書と読み聞かせの練習に5時間、公共図書館でのブックリスト入手及びブックリスト作成に5時間、授業予習に5時間）

事前課題

事前学習として、① 小学校児童（低学年）20名程度を対象に、8月中旬に絵本の読み聞かせを約10分間行うと想定し、絵本1冊を用意し、読みの練習をしておく。② 公共図書館児童室が作成配布するブックリストを参考にし、小学生児童（学年は学生自らが設定する）を対象とした「夏休みの読書におすすめの本」というテーマで、8冊の図書を選定し各図書に関し、図書題名・著者名・出版社名・その図書を紹介する文章（約50字）・イラストや図書表紙写真を付す。8冊分をA4版用紙1枚（片面）にまとめ、そのブックリスト（MSワード使用。図書題名・著者名・紹介文には自らが設定した学年の児童の識字能力に合わせて漢字に振り仮名を振る）PDFデータを講義開始日にmanaba課題窓口に提出する。用紙フォーマットはmanaba課題窓口に格納しておく。手書きで作成の場合、スキャナー（コンビニに置いてあるコピー機でもスキャン可能）にブックリストを読み込みPDFファイル化した上で、manaba課題窓口に提出する。いずれの場合も、提出ファイル名を【学籍番号 氏名】に変更の上、提出する。

②使用教科書 プリント使用（授業開講約3,4日前にmanabaにアップ）

③参考書 学校図書館必携<改訂版>全国学校図書館協議会監修（悠光堂 2017年9月）

④**準備するもの** [事前課題]に記したように絵本 1 冊と事前課題としてのブックリスト PDF データ (演習授業時に使用)、メモ用紙、黒ペン (細字・いわゆるお名前ペン)

⑤**成績評価** 事前課題 30%、授業への参加・授業内発表・授業内提出物 40%、最終レポート 30%

⑥**学生へのメッセージ**

事前課題(ブックリスト)について、授業開講約 2 週間前に manaba に課題用紙フォーマットを格納するので、講義開始日に manaba にて提出後、手元に印刷紙 (実物) も用意しておきましょう。スクーリング中に発表・検討日を設けます。成績評価の 30% を占める最終レポートはスクーリングでの学習内容の総括であることから、スクーリングを全日受講することが前提となります。スクーリング最終日に最終レポート (授業 3 日目頃、最終レポートテーマについて告知します) 作成・提出解説の時間を設けます。授業開講約 1 週間前頃から manaba を確認して新たな指示が出ていないか確認してください。

⑦**追試験** 対象科目

情報メディアの活用 (テキスト)

担当教員： 後藤 敏行

3年次～ 必修2単位

テキスト科目/2025年度

概要

当科目は、「学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る」ことをねらいとしている（文部科学省 “（別紙2）司書教諭の講習科目のねらいと内容” https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/1327211.htm（参照2024-11-26））。高度情報社会と人間、情報メディアの特性と選択、視聴覚メディアの活用などについて、テキストをもとに学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP2 大学DP3 大学DP4 大学DP5

到達目標

- ①各種の情報メディアについて理解する。
- ②学校図書館における情報メディアの活用、その際の留意点について理解する。

学習の進め方

テキストを熟読したのち、レポート課題に着手する。課題1・2とも、テキスト全体を参考にすべきである。科目修了試験に向けても、テキスト全体をよく理解しておくこと。レポート課題、科目修了試験両方について言えるが、もし、テキスト1冊だけでは分かりづらい場合、各自の判断で参考書なども調べる。書店や図書館で入手できる。なお、科目修了試験では、以下が特に大切である（必ず以下からのみ出題する、というわけではない）：第4章第2節、第5章第3節、第6章第1節、第8章第1節～第3節

内容

1. Education2.0への対応と教育改革
2. 高度情報通信社会と人間 (1)：情報メディアの意義、高度情報通信社会の到来
3. 高度情報通信社会と人間 (2)：インターネットの登場
4. インターネット時代の学校図書館と情報メディア教育 (1)：学校におけるインターネットの導入、司書教諭による情報メディア教育
5. インターネット時代の学校図書館と情報メディア教育 (2)：情報メディア教育の留意点、学習の階段
6. 情報メディアの活用と選択 (1)：コレクションの構成
7. 情報メディアの活用と選択 (2)：インターネット上の除法資源の活用と選択、ホームページによる教育資源の収集
8. 校内ネットワークの構築とその活用 (1)：校内ネットワークの構築とその活用
9. 校内ネットワークの構築とその活用 (2)：校内ネットワークの構築、日常の運用と諸問題
10. 学校図書館における情報の検索と探索 (1)：検索と探索、情報検索の実際、学校図書館における文献検索
11. 学校図書館における情報の検索と探索 (2)：インターネットを利用した情報検索、情報検索の意義
12. 学校図書館と情報発信 (1)：ホームページによる情報発信
13. 学校図書館と情報発信 (2)：HP制作の実際
14. 学校図書館メディアと著作権 (1)：知的財産法体系と著作権制度、学校教育と著作権、学校図書館と著作権制度
15. 学校図書館メディアと著作権 (2)：デジタル・ネットワーク環境と学校教育、学校における著作権教育

テキスト・参考書

①**テキスト** 情報メディアの活用第2版 二村健（編著） 学文社 2010年

*上記のとおり2010年第2版発行のものを指定しますのでご注意ください。

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②**参考書** 情報メディアの活用 「探究学校図書館学」編集委員会（編） 全国学校図書館協議会 2021年
情報メディアの活用と展開改訂版 中山伸一（編著） 青弓社 2009年
情報メディアの活用新訂版 高銚 裕樹、田嶋 知宏（編著） 放送大学教育振興会 2022年

*当科目は各社が教科書を出していますが、数年おきに改訂されることが多いです。それぞれ最新の版を参照してください。

成績評価

- ①レポート テキストの内容を理解できているか：70点満点
テキストに加えて、参考書をみずから調べるなどによって、詳細な論述ができているか：10点満点
分かりやすく書けているか：20点満点 計100点満点

*課題の字数制限を守ってください。単に長く書けば良いわけではありません。「詳細であるが、冗長ではない」表現を追求してください。字数制限を超えた場合、不合格になる可能性があります。

- ②科目修了試験 論述式の試験である。
テキストの内容を理解しているか：90点満点
分かりやすく書けているか：10点満点 計100点満点